

陶芸の現代をテーマとして、世界各地の近現代の陶芸作品を収集し、さまざまな展覧会を開催しています。さらには、陶磁器を通じた人的ネットワークの構築や、地域との連携などを視野に入れた活動も展開しています。

開館時間 ■ 10:00-18:00(入館は17:30まで)
休館日 ■ 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
2023年12月28日-2024年1月3日

企画展 ■ 一般340円(団体280円)
(コレクション展) 大学生220円(団体160円)
観覧料

- * 団体は、20名以上となります。
- * 特別展については、別料金となります。
- なお、特別展開催時は、特別展観覧券で企画展(コレクション展)も観覧できます。
- * 高校生以下(未就学児を含む)は、特別展を含め、すべて無料です。
- * 以下の手帳をお持ちの方、および付き添いの方1名まで、無料です。
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、
特定医療費(指定難病)受給者証

住所 ■ 〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)
電話番号 ■ 0572-28-3100 FAX番号 ■ 0572-28-3101
美術館HP ■ <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

General Information

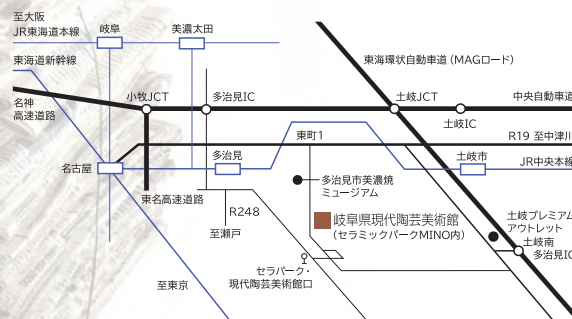
- Hours ■ 10:00-18:00 (Visitors admitted until 17:30)
Closed Days ■ Closed on Mondays
(Open on holiday Mondays and closed on the following weekdays)
December 28, 2023 - January 3, 2024
- Admission Fees ■ Adults ¥340 (¥280 per person for groups of 20 or more)
College and university students ¥220
(¥160 per person for groups of 20 or more)
* Additional admission charges apply during special exhibitions.
* Free admission for primary and secondary school students.
* Persons with disability or with intractable disease and one person accompanying them are admitted free of charge.
- Address ■ 4-2-5, Higashi-machi, Tajimi-city, Gifu-prefecture, 507-0801
TEL / FAX ■ +81-572-28-3100 / +81-572-28-3101

公共交通機関でのアクセス

- 東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央本線に乗り換え
・名古屋→多治見 快速35分
- JR中央本線多治見駅から
・タクシー 約10分
・多治見市コミュニティバス オリベ観光ルート 約20分
「セラミックパークMINO」下車(土・日・祝のみ)
- ・東鉄バス「瑞浪駅前」行き、「妻木上郷」行き、「駄知」行き 約15分
「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車 徒歩約10分

お車でのアクセス(駐車場無料 一般312台収容)

- 東京方面: 東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由
- 富山方面: 東海北陸自動車道→美濃関JCT経由
- 長野方面: 中央自動車道→土岐JCT経由
→東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分
- 大阪方面: 名神高速→小牧JCT経由
→中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分
→東町1の交差点を右折



三島喜美代(WORK96-A) 1996年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

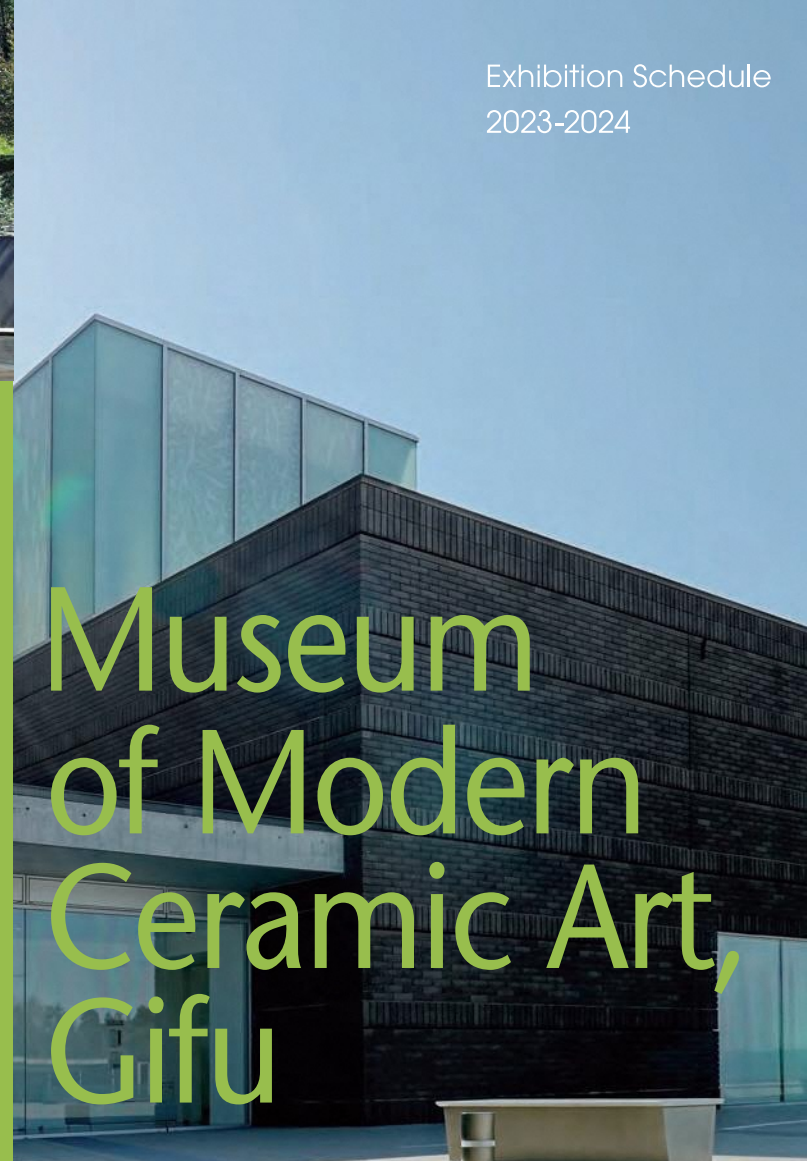


Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

岐阜県現代陶芸美術館
展覧会スケジュール 2023-2024

* 催しの詳細および特別展観覧料は、美術館ホームページにてご確認ください。

URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>



展覧会スケジュール		2023/3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2024/1	2	3
ギャラリーI 【特別展】			超絶技巧、未来へ! 明治工芸とそのDNA -4/9		やきものにうたう：ハンガリー現代陶芸展 4/22-7/2		大地のこどもたち2023 わたしたちのエネルギー 7/29-8/27					フィンランド・ガラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン 12/16-3/3		
	ギャラリーII 【企画展】	展示室A (2F)	THE GIFTS -安藤種金コレクションから-日本の陶芸- -5/7		豊場惺也展 コレクション展				三島喜美代-遊ぶ 見つめる 創りだす 9/16-11/26					
		展示室B (3F)	コレクション・ハイライト -5/7											
展示室C,D (3F)	新収蔵作品展 令和3(2021)年度新収蔵品 2 -5/7												ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展 -食べること、共に生きること- 12/16-3/3	
												コレクション展		

【特別展】

やきものにうたう： ハンガリー現代陶芸展

Voices in Ceramics: Contemporary Hungarian Ceramic Art

2023年4月22日(土)～7月2日(日)

【ギャラリーI】



フス・シェルジュ(Nodder II) 1981年
ブダペスト国立工芸美術館蔵 Photo: Friedrich Kristina

中欧の国、ハンガリーでは、複雑な歴史をたどったその社会に呼応するようにして、独自の陶芸文化が形成されてきました。本展は、ブダペスト国立工芸美術館による学術協力のもと、1960年代以降のハンガリーにおける陶芸表現を、歴史的背景をふまえながら紹介するものです。ハンガリー現代陶芸を概観できる日本で初めての機会となります。巨匠から新進気鋭の作家まで、ハンガリーの陶芸家たちの「こえ」が聴こえる作品をご覧ください。

大地のこどもたち2023 わたしたちのエネルギー

The Children of the Earth 2023: Our Energy

2023年7月29日(土)～8月27日(日)

【ギャラリーI】観覧無料

2005年から3年ごとに開催し、今回で7回目となる、こどもたちの陶芸作品による展覧会です。「わたしたちのエネルギー」をテーマに、県内小学校、中学校、特別支援学校の教育活動の中で、一生懸命に粘土と向き合い、生み出した作品を展示します。これまでの「大地展」や教育に関わる収蔵作家の作品の展示、関連ワークショップ等も開催します。一つ一つの作品からあふれ出るエネルギーや豊かな感覚をご覧ください。



大地のこどもたち2020 最優秀賞作品

三島喜美代-遊ぶ 見つめる 創りだす

MISHIMA KIMIYO: Play Watch Create

2023年9月16日(土)～11月26日(日)

【ギャラリーI-II】



三島喜美代《Copy 78-80》1978-80年
滋賀県立陶芸の森蔵 Photo: 杉本賢正

大阪市と土岐市を制作の拠点として活動する三島喜美代(1932年生まれ)は、陶をつかい、雑誌や新聞、ダンボールなどを表現する革新的な作品で知られています。情報化社会のなかで大量に作られては廃棄される新聞やチラシ、ゴミを題材とした作品は、ユーモアを含みながらも、現代社会の現実をみつめる作家の厳しいまなざしを伝えています。本展では、初公開作品を含む初期の作品から最新作まで、三島喜美代の世界を紹介します。

フィンランド・ガラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン

Finnish Glass Art
Sparkle and Color in Modern Design

2023年12月16日(土)～2024年3月3日(日)

【ギャラリーI】

フィンランドでは1917年の独立後に工芸デザインが発達し、1950年代にそのガラス製品は世界から高く評価されるようになりました。ガラス製品の中でも、芸術的志向の高いものは「アートグラス」と呼ばれています。本展では、主要なデザイナー、作家による約140件の作品によって、1930年代から現在に至るフィンランド・ガラスアートを紹介します。風土を反映しながら、表現の可能性を広げていった、その鮮やかな成果をお楽しみください。



カイ・フランク(アートグラス、ユニークピース) 1970年代前半
コレクション・カッコネン蔵 Photo: Rauno Träskelin

ムーミンの食卓と コンヴィヴィアル展

Convivial Life at Moomin's Table

-Eating and Sharing Nature's Bounty-

2023年12月16日(土)～2024年3月3日(日)

【ギャラリーII】

わたしたちの暮らしに欠かすことのできない「食」は、個性ゆたかなムーミン谷の仲間たちにとっても大切なものです。本展では、ムーミンの物語に登場する食べものに焦点をあて、挿絵や物語の引用の数々を通じて、コンヴィヴィアル(convivial / 「パーティーの愉快的雰囲気」「共生」「心地のよい」の意)な感じのありかを探ります。



《ムーミンババ海へい》 1965年 ©Moomin Characters™

【企画展】

豊場惺也展

TOYOKA SEIYA

2023年5月16日(火)～8月27日(日)

【ギャラリーII】



豊場惺也《瀬戸黒茶碗》2002年 個人蔵

名古屋の刀剣鑑定家に生まれた豊場惺也(1942年生まれ)は、高校卒業後に荒川豊蔵の内弟子となりました。師の薫陶を受けた豊場は1974年、可見市大萱に穴窯と登窯を築窯して独立しました。本展では、瀬戸黒、志野、黄瀬戸、粉吹、唐津など多彩な技法で、大萱の自然と暮らしのなかで作り続けられてきた、茶陶と食器などを紹介します。

コレクション展

Collection Exhibition

2023年5月16日(火)～8月27日(日)

2023年12月16日(土)～2024年3月3日(日)

【ギャラリーII】



Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

もむか

岐阜県現代陶芸美術館(MoMCA)の教育普及プログラム

岐阜県現代陶芸美術館では、様々な教育普及プログラムを開催しています。

季節のワークショップ

季節にあわせたやきもの表現に取り組むワークショップです。

「転写シートを使った上絵付」「自分だけの〇〇をつくってみよう」など。

●年3回～ ●要事前申込 ●要制作費

もむか MoMCAの小さな図工室

作品を見て感じたことを、色や形に残してお土産に持って帰ります。

誰でも気軽に立ち寄って参加できる、造形ワークショップです。

●月1回～ ●事前申込不要 ●参加無料

その他のワークショップ

素材や技法を理解し体験する、作家の見方や考え方を知るなど、体験を通じて多様に学ぶワークショップです。

●随時開催 ●要事前申込 ●要制作費(イベントによる)

もむか MoMCAやわらかアート・ツアー

感じたことや見つけたことをもとに、楽しく対話しながら展覧会を鑑賞しましょう。

子どもも大人も楽しめる、やわらかい鑑賞ツアーです。

●月1回～ ●事前申込不要 ●参加無料(要観覧券)

先生と先生のためごのための美術鑑賞会

開催中の展覧会で鑑賞プログラムを体験していただく鑑賞会です。

鑑賞学習に取り組む学校の先生や教育を学ぶ学生の皆さんから、鑑賞学習に関心のある方ならどなたでも参加していただけます。

●随時開催 ●要事前申込 ●参加無料

ギャラリートーク

当館学芸員が展示案内を行います。作品に対する専門的な理解を深めていただけます。

●展覧会開催中 月1回～ ●事前申込不要 ●参加無料(要観覧券)

📍 **学校美術館** — もむか **MoMCAが学校にやってきた!** — 📍

当館コレクションから数点を県内小中学校に展示し、
児童・生徒および地域のみなさんに身近で鑑賞いただく機会をつくります。📍

プログラムの開催日や詳細、その他のイベントにつきましては、
美術館ホームページ(<https://www.cpm-gifu.jp/museum/>)などをご確認ください。